

三洋化成株主見学会

# 化学のちからで 化学の枠を越える。

三洋化成  
代表取締役社長  
樋口 章憲

# 1. 三洋化成の概要

# 三洋化成の概要



創 立 : 1949年（昭和24年）11月1日

本 社 : 京都市東山区

資 本 金 : 13,051百万円

国内支社・営業所 : 東京、名古屋、広島、福岡

主な関係会社 : 国内7社、海外14社  
（連結子会社13社、持分法適用会社3社）

従業員数 : 連結 2,042名 [2024年3月31日現在]

事業内容 : 約3,000種類のパフォーマンス・ケミカルス  
（機能化学品）の製造・販売



本社外観

## 1907年 多田石鹼油脂製造所創立



京都にある広大な茶畑を切り拓き石鹼工場を建設  
(現在の三洋化成京都工場辺り)

当時の国産石鹼は品質が悪く、舶来品並みの  
高品質な石鹼をつくりたいという想い



石鹼製造技術＝界面活性剤（有機）合成技術

石鹼事業から繊維処理剤等へと事業を展開し、研究開発・技術開発力に  
優れた会社へ

**100年以上にわたり培ってきた研究開発力、  
界面制御技術の深耕こそが、三洋化成の利益の源泉**

# 三洋化成の創立



1943年 三洋油脂（株）創立

\* 三井物産(75%), 東洋レーヨン(25%)出資



1949年 三洋油脂工業（株）創立  
(1963年、三洋化成工業（株）へ社名変更)

会社設立時の株主総会 (S24.11)

◇ 1978年東証1部、大証1部に上場

◇ 2022年東証プライム市場へ移行

**社会ニーズに化学（界面制御）技術で応えつづけ  
現在では、3,000種類に及ぶ製品を製造販売**

# 三洋化成の本社および研究所



本社・本社研究所（京都市東山区）



研究第2棟（同、東山区）



桂研究所（同、西京区）

# 国内生産拠点



京都工場・本社・研究所  
(東山区、約2.6万m<sup>2</sup>)



鹿島工場  
(茨城県神栖市、約13.0万m<sup>2</sup>)



名古屋工場  
(愛知県東海市、約10.0万m<sup>2</sup>)



衣浦工場  
(愛知県半田市、約14.0万m<sup>2</sup>)



サンケミカル 川崎工場  
(神奈川県川崎市、約1.1万m<sup>2</sup>)

# 海外生産拠点



韓国三洋化成製造株式会社



Sanyo Kasei (Thailand) Ltd.



Sanyo Chemical Texas Industries, LLC

# 海外営業拠点



三洋化成(上海)貿易有限公司

San Nopco (Shanghai) Trading Co., Ltd.

DaXiang International Trading (Shanghai) Co., Ltd.



韓国三洋化成株式会社

San Nopco (Korea) Limited



Sanyo Chemical America Inc.



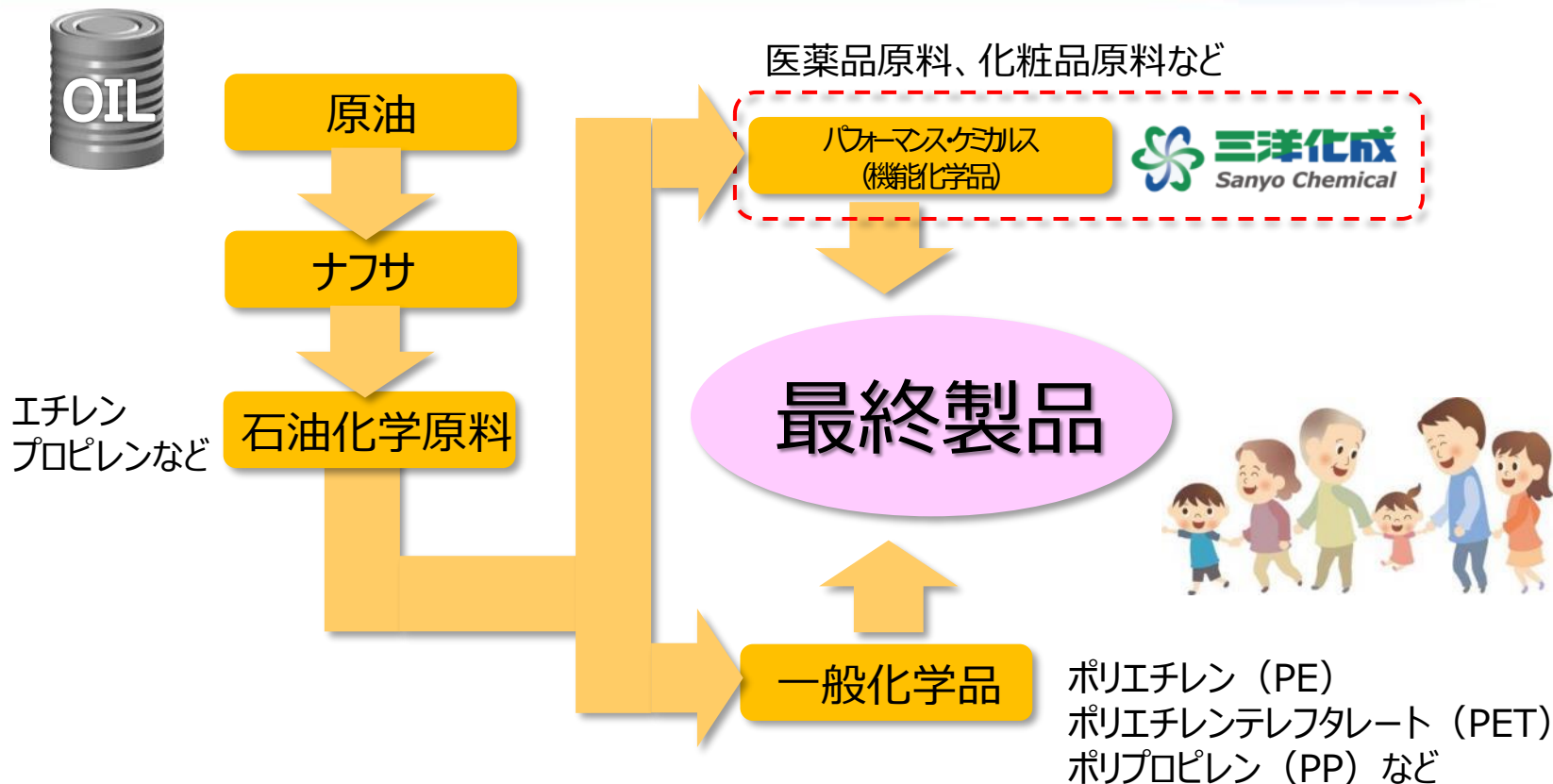
台灣三洋化成股份有限公司



Sanyo Kasei (Thailand) Ltd.



# サプライチェーン内での位置づけ



# 三洋化成のパフォーマンス・ケミカルス



- 組成（何でできているか）ではなく、機能・性能（何ができるか）で利用される化学品
- 末端商品はなく、ユーザーでさらに加工される（B to B企業）
- 自動車、繊維、トイレタリー、電気・電子、樹脂など多くの産業で活躍
- 地球環境に配慮した製品開発



## -社是-

企業を通じてよりよい社会を建設しよう

## -目指す企業像-

グローバルに、ユニークな優良企業グループへ

優良企業・・・「経済的要素」や「社会的要素」のみでなく  
従業員の「働きがい」や「誇り」「幸せ」が重要

ワクワク経営

研究開発重視



# 三洋化成が目指す姿

## 変革を支える活動 “全部署がプロフィットセンター”

- ・ 三洋化成グループの従業員一人ひとりが主役
- ・ 全員にスポットライトを当て、ワクワクする業務を推進

### 事業本部

#### ・ 事業

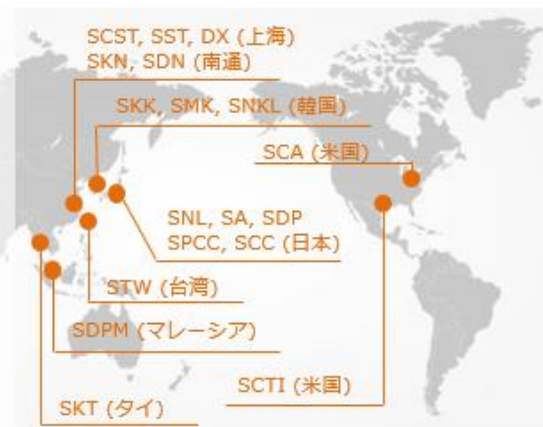
潤滑添加剤、画像薬剤、  
バイオ・メディカル、  
高機能マテリアル、  
インダストリアル関連、  
界面活性剤、ウレタン材料、  
エネルギー、デジタル嗅覚  
ビューティー&パーソナルケア

#### ・ 営業所（名古屋、広島、福岡）

### コーポレート

- ・ 人事、総務、事務、監査、ERP、企画  
管理、業務（営業、研究）、  
レスポンスブルケア

### 関係会社



### 生産関連

- ・ 生産企画、購買、エンジニアリング
- ・ 工場（京都、名古屋、衣浦、鹿島）、物流

## 「三洋化成の森づくり」活動について ～和束町で生き物観察と丸太切り体験～

### 環境保全活動として2009年から活動開始

- ・森づくり活動では、森林整備だけでなく、生物のことを知ってもらうことも重要なミッション
- ・知ることで生態系や生物多様性の理解や保全につなげたい、自然を大切にする心を育みたい



# 社会貢献活動について



## 化学の出張授業

### 化学の面白さを知ってもらう

1999年に創立50周年記念行事として「化学の出張授業」をスタート。2003年以降は京都商工会議所主催の「小学生への環境学習事業」に参画する形で活動中



## Waku Wakuサマースクール

学校の授業とは違う学びの場として、化学技術が世の中の役に立つことや、環境保全に貢献する大切さを知ってもらう

## 2. 三洋化成の業績とありたい姿

# 2025年3月期業績予想



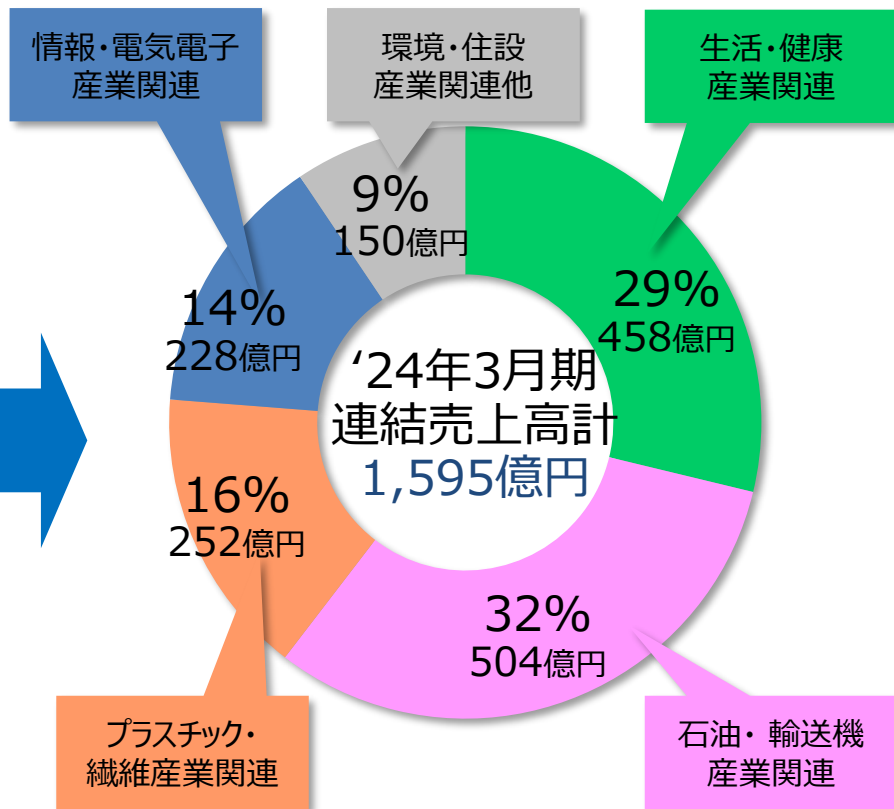
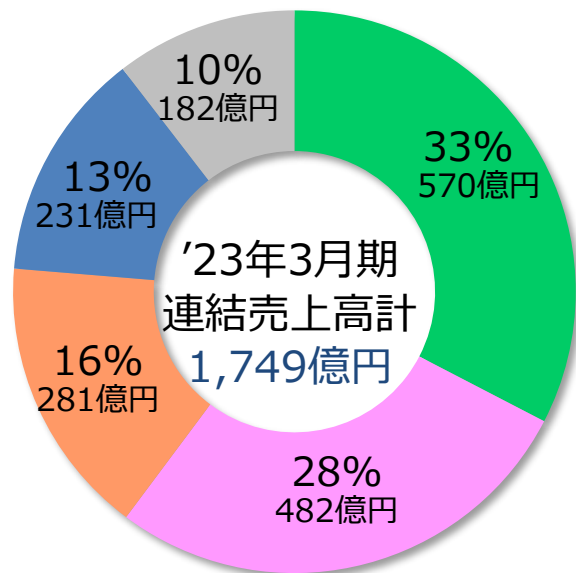
(億円, %)

| 連 結                 | '24年3月期   | '25年3月期<br>(予想*1) | 前期比    |      |
|---------------------|-----------|-------------------|--------|------|
|                     |           |                   | 増減額    | 増減率  |
| 売上高                 | 1,595.1   | 1,450.0           | ▲145.1 | ▲9.1 |
| 営業利益                | 48.8      | 90.0              | 41.2   | 84.4 |
| 経常利益                | 81.8      | 100.0             | 18.2   | 22.2 |
| 親会社株主に帰属<br>する当期純利益 | ▲85.0 * 2 | 40.0              | 125.0  | —    |

\* 1 2024年9月27日に営業利益、経常利益、純利益を上方修正

\* 2 高吸水性樹脂事業及び中国における生産事業からの撤退に係る損失(事業構造改革費用)を約 1 2 0 億円計上したため赤字となった

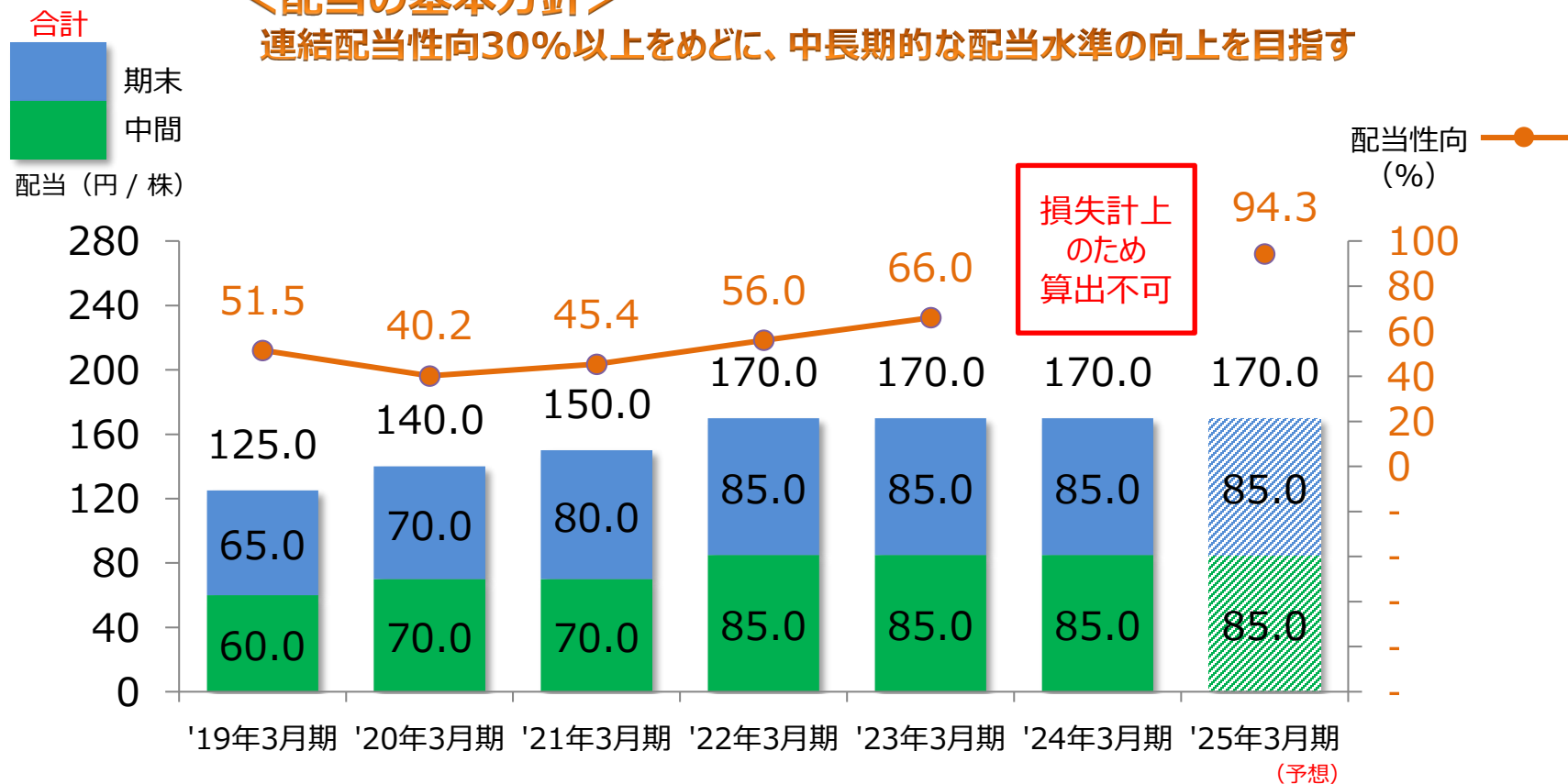
# 連結産業分野別売上高構成



# 1株あたり配当と配当性向の推移(連結)

## <配当の基本方針>

連結配当性向30%以上をめどに、中長期的な配当水準の向上を目指す



# 三洋化成のありたい姿(Vision)

全従業員が誇りをもち、働きがいを感じる  
グローバルでユニークな高収益企業に成長する



多様な一人ひとりの新しい発想を源泉に、  
当社と全ステークホルダーの「ちから」を掛け合わせ、  
スピード感ある挑戦を実行し続けることで化学の枠を越えてイノベーションを起こす

## 社是「企業を通じてよりよい社会を建設しよう」

実現したい社会

- ・環境と調和した循環型社会
- ・健康・安心にくらせる社会
- ・一人ひとりがかがやく社会

Sanyoの貢献

環境を支える

カーボンニュートラルへの貢献

人とくらしを支える

QOLの向上

多様性を支える

働きがいの向上

大切にすること  
(Values)

- ・すべてのステークホルダーのワクワク
- ・環境・社会的価値と経済価値をステークホルダーと共創\*
- ・社員一人ひとりが価値の創出に貢献

\*) 共創：全ステークホルダーと共に価値を築き上げていく

新たな  
成長軌道

## 将来の成長を担う新規事業

三洋化成の化学技術を駆使し  
新たな素材を提供する分野

基盤事業  
からの展開

## 現在の利益を牽引する基盤事業

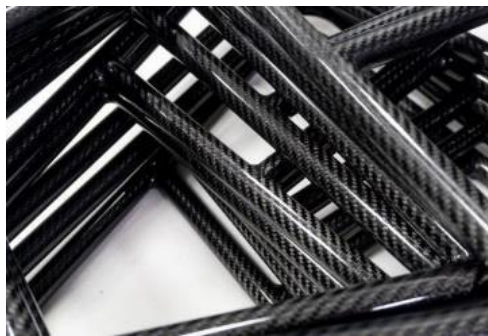
高利益製品群の能力増強  
サプライチェーン全体での生産効率UPなど  
"ものづくり大改革"を進める分野

基盤事業  
の見直し

## 新規事業と基盤事業、両輪で成長する会社へ

### 3. 基盤事業と新規事業について

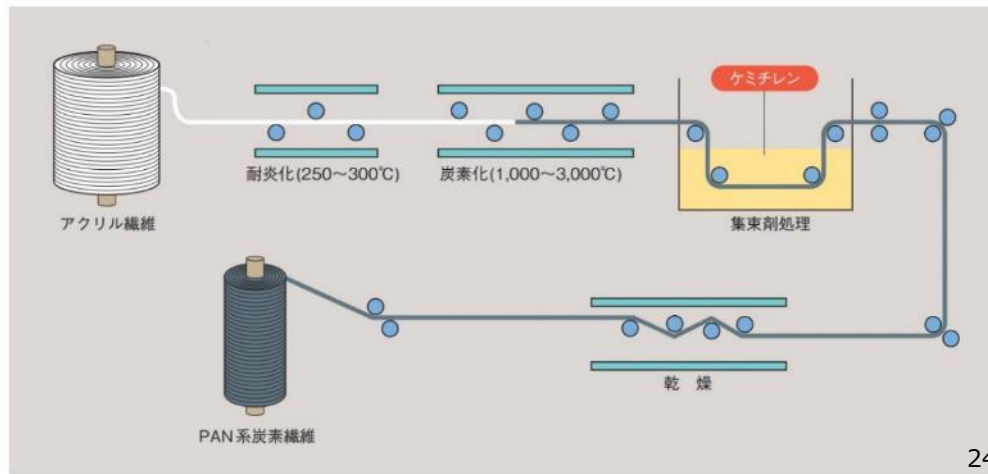
# 炭素繊維集束剤『ケミチレン』



炭素繊維製造工程で使用される。  
近年、再生可能エネルギー需要の高まりから風力発電用に  
炭素繊維は多く使用され、ケミチレンの需要も高まっている

投資金額約7億円、2025年4月稼働  
予定で、現在の生産能力から5割程度  
の能力増強

2030年には、現在の売上高を2倍程度  
まで引き上げる

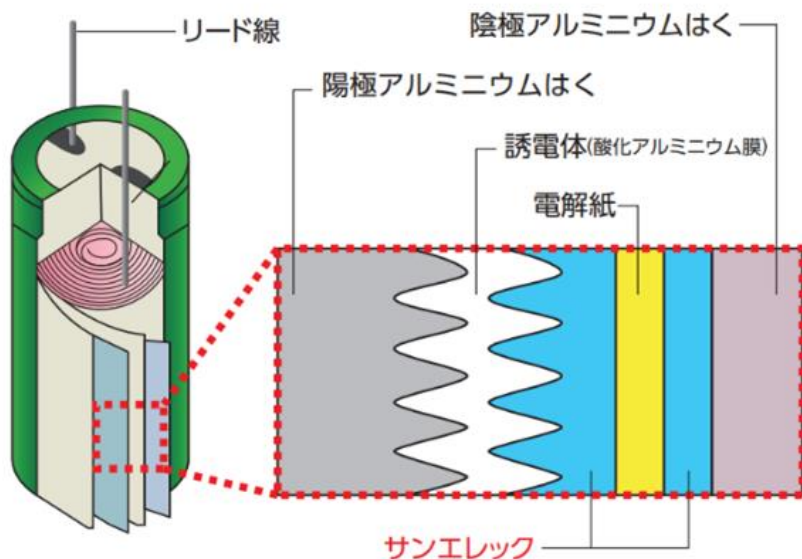
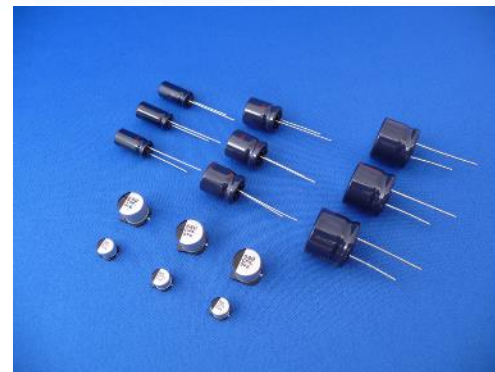


# アルミ電解コンデンサ用電解液『サンエレック』



独自開発したアミジン化合物を用いた電解液

- ・イオンの移動速度を保持、発生アルカリを中和し無害化。
- ・コンデンサ業界最大の課題であった液漏れを克服



自動車の電装化、EVの拡大等コンデンサ需要の急激な増加への対応

- ①2023年5月稼働  
投資金額約4億円：3割程度の能力増強
- ②2026年4月稼働予定  
投資金額約5億円：3割程度の能力増強

# 永久帯電防止剤『ペレスタット』『ペレクトロン』



サンヨーカセイ（タイランド）リミテッド  
の新プラント

電子機器・精密部品の包装・搬送材料用途での需要拡大  
新たな用途展開

タイの関係会社サンヨーカセイ（タイランド）リミテッドでの新製造  
設備を稼働

総投資額：34億円

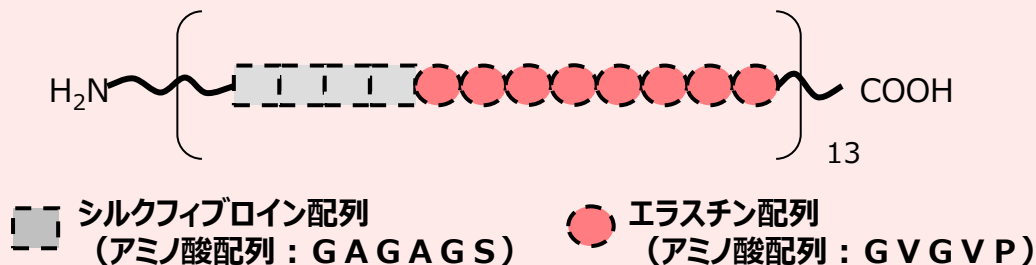
生産能力：1,500トン/年

（日本、タイの合計生産能力は4,700トン/年）



**三洋化成が得意とする界面制御技術により、  
ニッチで高付加価値製品である既存事業の利益拡大へ**

## 日本初、世界でも数少ない遺伝子組み換え タンパク質を利用した医療機器へ



シルクエラスチンの構造



### シルクフィブリン

保湿性や静菌性を有した  
安全性の高い医療用材料

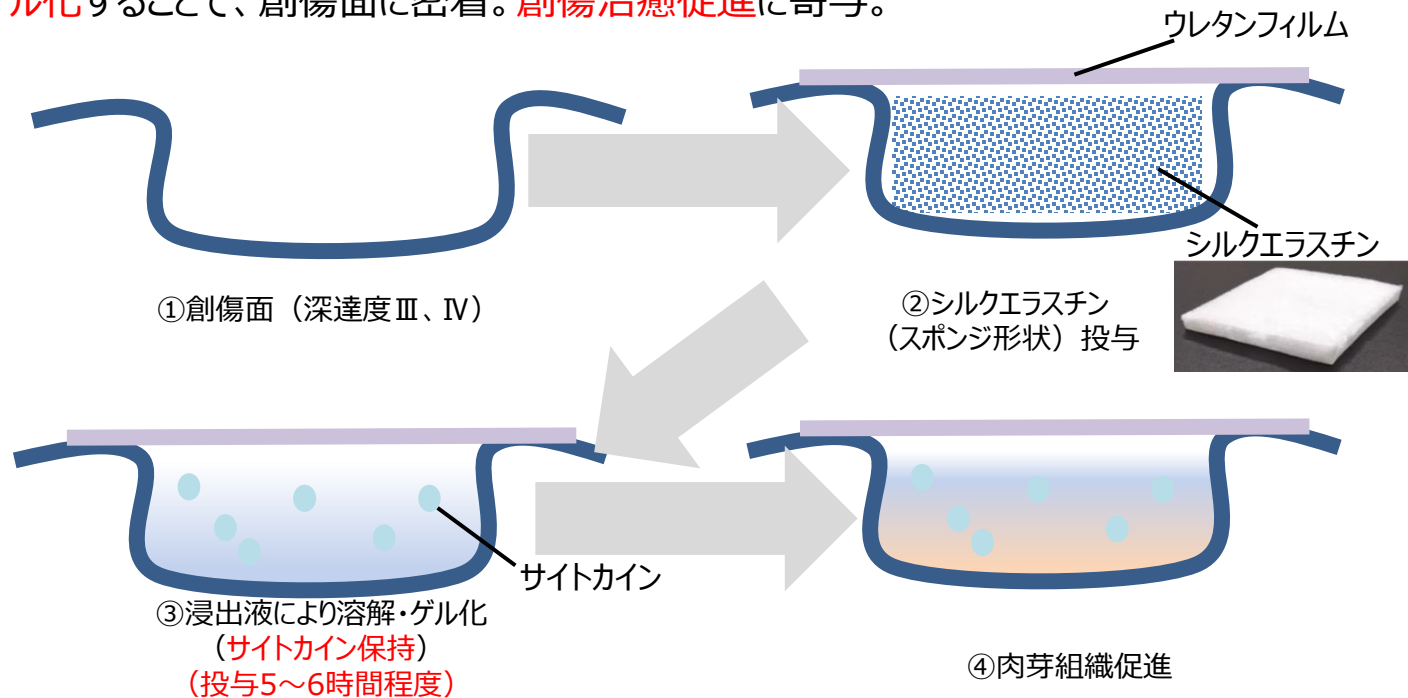
### エラスチン

皮膚の弾性を発現させる  
真皮の構成成分のひとつ

# 医用材料への展開＜創傷治癒材＞

## コンセプト

皮膚欠損に投与したシルクエラスチンスポンジが、体液により溶解して、体温によってゲル化することで、創傷面に密着。創傷治癒促進に寄与。



## 治す力を促進

# 創傷治癒材用途

## 共同研究パートナー：京都大学大学院医学研究科形成外科

慢性創傷（糖尿病性足潰瘍等）や急性創傷（熱傷等）は、日本国内で120,000例以上であり、高齢化に伴い、難治化を含めて増加傾向

日本の糖尿病患者数 : 316万6,000人  
糖尿病下腿潰瘍の有病率 : 1.5~10%（発生率 : 2.2~5.9%）

**重症化（足切断）患者 : 1万人/年**

（日本糖尿病学会ガイドライン2017）

京都大学附属病院・・・糖尿病患者数 : 1万2735人/年  
（2015年 京都大学医療情報部調べ）

**医師主導治験・企業治験での極めて良好な結果  
（治癒力・治療期間短縮）**

創傷治癒力とハンドリング性の良さから競合と位置付ける  
医療機器（人工真皮、NPWT\*）の置き換えを狙う

\*局所陰圧閉鎖療法

|      | シルクエラスチン    | 従来法① | 従来法② |
|------|-------------|------|------|
| 急性創傷 | <b>100%</b> | 60%  | 32%  |
| 慢性創傷 | <b>90%</b>  | 34%  | —    |

**従来治療では治癒が期待できなかった傷に対して、  
高い治癒効果が得られた**



シルクエラスチン貼付前



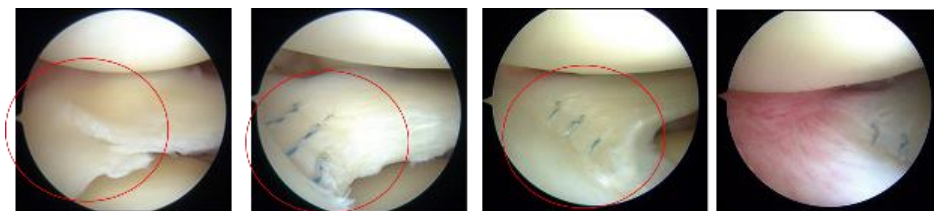
シルクエラスチン貼付14日後

**2024年9月末に科研製薬株式会社と、日本国内における独占的販売権に関するライセンス契約を締結。2024年薬事承認申請・保険償還申請を経て、2025年度内の上市を目指す。**

# 半月板再生材用途



医師主導治験として半月板損傷と判断された患者8例に対して、術後3カ月後の検査にて断裂部位の完全癒合を半数以上確認



縫合前

縫合後

術後3カ月（完全癒合）

| 被験者番号 | 年齢  | 性別 | 関節鏡検査結果<br>(術後3カ月) | 被験者番号 | 年齢  | 性別 | 関節鏡検査結果<br>(術後3カ月) |
|-------|-----|----|--------------------|-------|-----|----|--------------------|
| 001   | 20歳 | 女性 | 完全癒合<br>(100%)     | 006   | 17歳 | 男性 | 不完全癒合<br>(80%)     |
| 002   | 27歳 | 男性 | 完全癒合<br>(100%)     | 007   | 47歳 | 女性 | 完全癒合<br>(100%)     |
| 003   | 38歳 | 男性 | 完全癒合<br>(100%)     | 008   | 52歳 | 男性 | 完全癒合<br>(100%)     |
| 004   | 17歳 | 男性 | 不完全癒合<br>(80%)     | 009   | 21歳 | 男性 | 完全癒合<br>(100%)     |

治験責任医師(広島大学病院長/整形外科 安達伸生教授コメント)

- ・驚異的な結果でありシルクエラスチンの効果が十分に確認できた
- ・安全性に関しても、サンプル不具合や特段の有害事象は認められず安心して使用できた

## 市場性

### 創傷治癒材用途

- ・日本の糖尿病患者数:300万人以上  
⇒重症化(足切断)患者:1万人/年

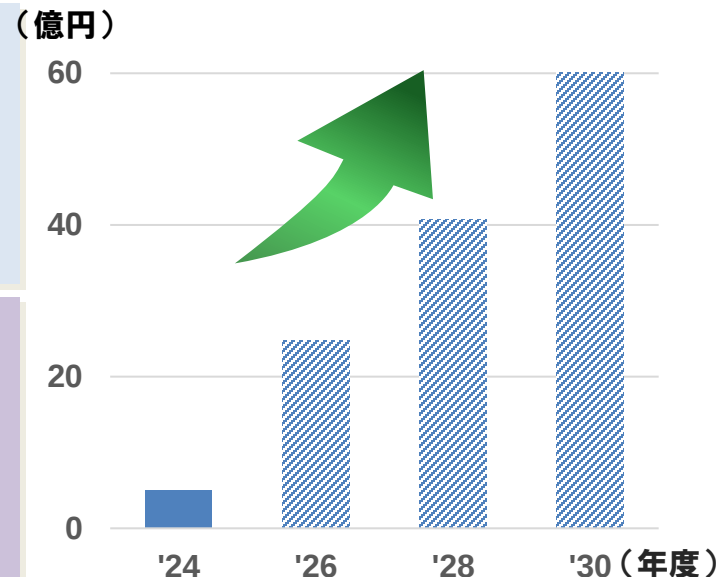
市場規模  
国内90億円  
米国900億円

### 半月板再生材用途

- ・変形性膝関節症:3,000万人  
(有症状者数:1,000万人)

市場規模  
国内120億円  
米国1,270億円

## 将来性



**創傷治癒材用途、半月板再生材用途の最新状況から  
2030年には日米で60億円の営業利益の創出を目指す**

## 遺伝子組換えタンパク質で細胞治療イノベーション シルクエラスチン-プラットフォーム (医療機器から再生医療・医薬品まで様々な工夫で広く評価中)



CORPORATE PROFILE 2022

会社案内

化学の  
ちからで  
化学の枠を  
越える。



# 化学のちからで 化学の枠を越える。

引き続きご支援のほどよろしくお願いいたします。

